

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田県営田沢湖オートキャンプ場	設置年	平成 12 年
所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前63-2		
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社		
県所管課	観光戦略	課	観光地域マネジメント推進 チーム

1 施設の概要

設置目的	恵まれた自然の中で県民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、ゆとりのある県民生活の実現に寄与するとともに、県内外の交流を促進し、地域の活性化を図る。						
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 人口減少の進行やデジタル技術の進展等のほか、コロナ禍により旅行ニーズの個人化・個性化が一層強まるなど、観光を取り巻く環境が大きく変化している中、自立した稼ぐ観光エリアの形成に向けた地域観光を担う施設 新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの 旅行者の多様なニーズに応じたサービスの提供						
施設の面積	敷地面積46,786.03㎡、延床面積367.07㎡						
主な設置施設	管理棟、サニタリー棟、炊事棟など						
指定管理業務の内容	料金制	有（完全利用料金制）					
	料金設定	別紙					
	サウンディング実施対象施設※						
	指定期間	R3.4.1		～	R8.3.31		
	営業期間・時間	4/25～11/4					
	秋田県営田沢湖オートキャンプ場に関する次の業務 ①管理運営業務②施設整備維持管理業務 ③企画運営業務④事務処理業務						
自主事業の内容	・オートキャンプ場内において売店・レンタル自転車の営業						
直近3年の年間利用者数	R4	6,951 人		R5	6,358 人	R6	6,898 人
直近3年の年間利用収入	R4	9,571 千円		R5	8,541 千円	R6	9,676 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6	
収入 計		7,145	10,404	11,255	10,068	11,453	
利用料金収入		6,424	8,444	9,571	8,541	9,676	
指定管理料		0	0	0	0	0	
その他収入		721	1,960	1,684	1,527	1,777	
支出 計		6,850	8,629	8,263	9,508	9,689	
人件費		3,932	4,993	4,944	5,897	6,185	
光熱水費		前指定管	847	1,255	1,272	1,087	
修繕費		理者のため	69	275	447	500	
外部委託費		不明	0	0	0	0	
その他経費		2,918	2,720	1,789	1,892	1,917	
差 引		295	1,775	2,992	560	1,764	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

＜観点Ⅰ＞ 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組
【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	利用者数 7,300人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	6,898人	達成率	94.5%	
	具体的な 取組と その効果	施設の維持管理では電気系統の修理や老朽化した木柵の整備を行い、滞在環境改善に務めた。また、田沢湖ブルーウイークイベントへの参加やアウトドア専門誌への掲出を行うとともにWEBによる広告宣伝等を実施し利用者の拡大に努めた。県内のクマの出没や豪雨による影響はあったものの利用者は前年を8.5%上回った。			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	6,500人	7,000人	7,500人	
	実績	6,283人	6,951人	6,358人	
	達成率	96.7%	99.3%	84.8%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 7,500人			
	設定根拠	令和7年度も引き続きクマの出没対策として栗の木の伐採、防獣ネットの設置により安全対策を図る。また、ホームページの更新やイベントへの参加・クレジット決済の導入等により誘客促進と利便性の向上を図り、目標の7,500人達成を目指す。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

＜観点Ⅰ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	令和6年度は、クマの出没や豪雨等の影響による利用者のキャンセルがあり目標は達成できなかったが、栗の木の伐採やトイレ床面の改修など環境の整備に努めたことなどにより対前年で利用者は増加した。
	県 (所管課)	B	近年の異常気象や熊の影響がありながらも利用者数は堅調に推移している。今後も利用者獲得に向けた努力に期待したい。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	90.3%(利用者アンケートによる)		
	具体的な 取組と その効果	老朽化している施設・設備の改修や外周の環境整備、ステッカーなどのオリジナルグッズ販売や子供の遊具の充実等を図ることにより、90%を超える利用者の満足度を継続できた。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	93.9%	91.0%	90.7%	

＜観点Ⅱ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	利用者アンケートやご要望に可能な限り対応したほか、ご意見をいただいている老朽化部分の更新などを進めながら対応しており、高評価をいただいた。
	県 (所管課)	A	利用者満足度90%以上の評価が継続されており、利用者本位の管理運営風土が醸成されている。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	R6年度経費9,689千円(対前年度比101.9%、+181千円)
	具体的な 取組と その効果	利用客の増による消耗品などの自然増や賃金上昇などの要因があったものの、漏水・漏電箇所の修繕や商品原価の改善等を行ったことにより、1.9%増にとどまった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	R6年度収入額11,453千円(対前年度比113.8%、+1,385千円)
	具体的な 取組と その効果	誘客のため実施していた会員のサイト料金を20%引きから10%引きに変更したことや原価率の低い薪・ステッカーなどを販売したことにより一人当たりの消費単価が向上したこと、クマの出没対策の外周環境の整備により利用客が増加したことが収益性の向上に結びついた要因となった。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	従業員の賃金上昇や物価高騰などの影響が大きい中で、販売管理費を抑えながら黒字化できた。振興局の協力や自然保護課の助言などによるクマの出没対策も効果があった。
	県 (所管課)	B	経費の削減については5%改善を達成していないものの、コスト要因の分析・対策を行うとともに、収入増につながる取り組みも行われている点は評価できる。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	○人員配置 管理運営に必要な人員を補強して配置しており、サービス提供に支障は生じていない。 ○職員の資質向上 クマの出没に対する知識の向上や林地の整備、予約や集計のデジタル化を指導している。 ○地域や関係団体との連携。 田沢湖で実施されるイベントや湖畔の環境整備への協力や参加など、地域で活動しているアウトドア団体などと連携を図っている。 ○安全対策 施設の点検結果に基づき的確に修繕を行い、利用者及び従業員が安全に利用できる状態を保っている。 ○危機管理等 巡回による事故防止対策及び緊急時における連絡体制を整備している。 ○運営 集客のための宣伝広告・栗の木の伐採等の環境整備、収入の改善や経費の見直しによる収支の完全を図っている。
--------------	--

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。また、老朽化している設備の面で不安があるため事故が発生しないよう協議のうえ改修する。
	県 (所管課)	B	利用者の安全に配慮した対策が行われている。引き続き施設の安全を確保しながら、利用者の獲得に取り組んでもらいたい。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

仙北市田沢湖エリアのアウトドア観光拠点として利用され、周辺地域への誘客にも寄与している。

○施設運営の課題

設置から25年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

田沢湖エリアにおけるアウトドア観光拠点として、周辺地域で展開されているアウトドアコンテンツとの連携促進等によりさらなる魅力向上を図っていく必要がある。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和6年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上で公表する。

評価(提言)

○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>～<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)

- ・熊の影響は致し方ないところだが、利用者数の目標値を段階的に引き上げている点は評価できる。
- ・田沢湖畔には様々なアクティビティのコンテンツがあることから、周辺施設等との連携について要検討。

○県の施策達成に向けた施設運営について

(県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

- ・施設として魅力が高く、現状として完全利用料金制で運営していることから、民間譲渡による運営が可能か要検討(民間運営の方がより県の施策達成に向けた効果的な運営が可能となると推察)。

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和6年度策定】

今後の対応方針

指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)

- ・敷地周辺へのクマの出没による利用者の減少はあったが全体としては施設の利用者数は増加傾向にあり、今後、田沢湖エリアでアウトドアコンテンツを提供している事業者やスキー場のグリーンシーズンの取組等と連携しながら利用促進を図っていく。

県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

- ・今後の施設のあり方について土地所有者の仙北市と意見交換を行っており、効果的な運営方法のほか、敷地内にある遺跡の保存方法や活用策についても併せて検討していきたい。

(12田沢湖オートキャンプ場) 指定管理者制度導入施設評価票 別紙 (料金表)

秋田県営田沢湖オートキャンプ場

区分			使用の単位	利用料金の額
入場料	小学校児童及び中学校生徒		1 人につき	250円
	一般			500円
施設等利用料	テントサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	4, 300円
		日帰り	1 区画 1 回につき	1, 600円
	キャンピングカーサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	6, 400円
		日帰り	1 区画 1 回につき	2, 100円
	広場兼用テントサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	2, 200円
		日帰り	1 区画 1 回につき	1, 100円
	シャワー		1 回につき	150円

備考 この表における「小学校児童及び中学生生徒」には、これらの者に準ずる者を含むものとする。